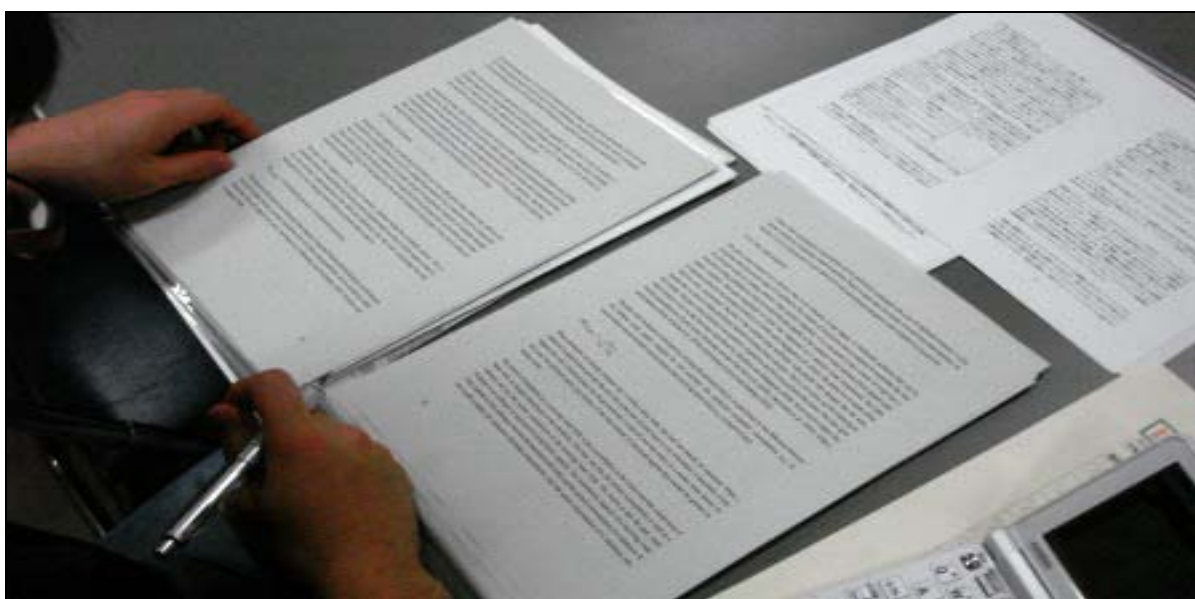
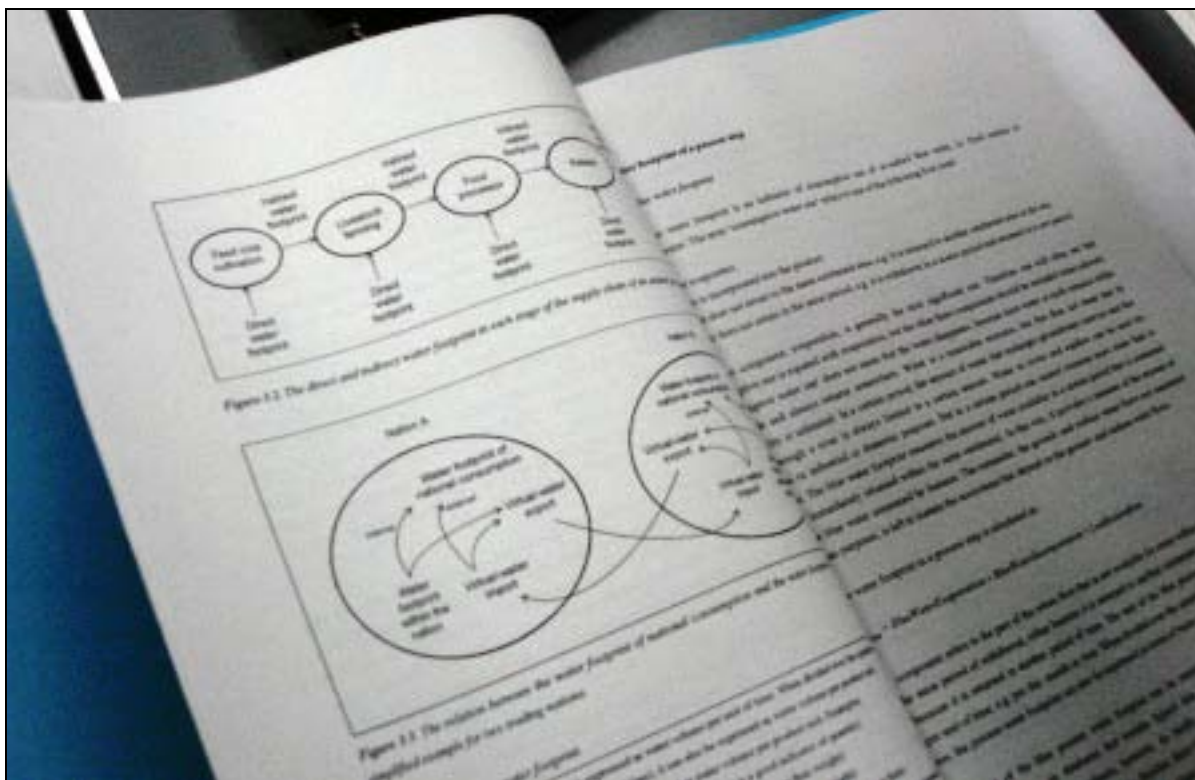


2-2-13 第 13 分科会「日本の水輸入を考える」

担当者 林 武司 受講学生 4 名

活動概要： 日本が輸入（消費）している海外の水資源量を理解するため、各自が調査した品目（牛肉、小麦、リンゴ、コメ）について、各国の Water Footprint（生産するのに消費した水の量）を整理・集計した。その結果を地図として可視化するとともに、日本の Water Footprint と比較することで、日本の海外の水資源量への依存度を調査した。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 日本がどれくらい海外の水に依存しているのかということを考えさせられた。食糧自給率もそうだが、水についても多く依存していると思った。（11月4日の感想より）

- 資料を読んで **Water Footprint**（生産するのに消費した水の量）がどのように計算されているのかを学習する。全編英語であるため、和訳していく作業を頑張っていきたい。（11月18日の感想より）

- それぞれが和訳したものを示し合わせていく活動を行った。和訳自体の日本語がおかしいところがあって、なかなか進まず大変である。（12月2日の感想より）

- 今日で重要な部分を全部和訳することが出来た。大体の意味はつかむことが出来たが、まだ分からない部分があるので、来週までにもう1度復習しておきたい。（12月9日の感想より）

- 今日は発表用のパワーポイントの作成を行った。**Water Footprint**や、そのマニュアルについての説明、各自が調べた品目についての地図や解説など、時間内に発表が終わるようしっかりまとめた。（1月20日の感想より）